

図書館のオススメ

【一般書】

○空に牡丹

大島 真寿美 著

せっかく生まれたんだもの、生きているうち、奇麗なものをたくさん見たいよなあー。時は明治。花火に心を奪われた男の生涯を描く。『きらら』連載を単行本化。

出版社…小学館

分類…Fオ



【絵本】

○ぬいぐるみのミュー

いもと ようこ 作

ソフトクリームに見とれていた、ぬいぐるみのミューは、まみちゃんの腕からすると落ちてしまい……。いもとようこが、読者から寄せられた手紙をもとに描く。「たいせつなもの」を思う気持ち、優しい心を育む絵本。

出版社…講談社

分類…Eイ

【児童書】

○気をつけよう！

スマートフォン

小寺 信良 著

スマートフォンについてイラストや図表を用いて解説。子どもがスマートフォンの利用を始めるにあたって、知っておきたい用語や、サービスの仕組みを取り上げている。

出版社…汐文社

分類…694

○まあいいか

大竹 しのぶ 著

いま伝えたい、あんなこと、こんなこと……。どんなときも前向きに、優しさと温かさに満ちた大竹しのぶのエッセイ集。『朝日新聞』夕刊連載にリリー・フランキーとの対談を加えて単行本化。

出版社…朝日新聞出版

分類…772オ



つつみ公民館

注目企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～
「支えてくれた人に日々感謝しながら」

株式会社影山倉庫 渡邊 義隆 さん

食品や工業製品などを管理・出荷する会社に入って3年目の渡邊さんは、福島県浪江町の出身。平成23年3月、東日本大震災で被災して古河市に避難したことがきっかけで、今の会社に就職しました。

担当は主にお菓子の仕分けや出庫。ビスケットなど碎けやすい商品が多いため、トラックへの積み込みには細心の注意が必要です。「運搬中の荷崩れや段ボールの汚れは厳禁。強風や大雨のときは、いつも以上に気を使います」と話します。

工場で作られた商品が店頭と並ぶまでの中継地として、品質管理の大切さを痛感しながらも「自分が扱った商品をお客様が買うのを見ると感慨深い。今後は他の商品も担当したい」と意欲をにじませています。

古河市に来て約5年になる渡邊さん。「突然家を失い、家族と離ればなれになってとても不安でした」と当時を振り返ります。一緒に避難してきた友人とは現在も連絡を取り励まし合っていますが「着の身着のままの私を温かく受け入れてくれた古河市の皆さんに感謝しています」と話してくれました。「田畑が多いところが浪江町に似ています。今では古河市も私のふるさどです」と話す明るい笑顔が印象的でした。

■プロフィール

休日は、ご当地グルメを食べに行ったり、離れて暮らす家族に会いに行ったりしています。26歳・旭町在住。

